

全國勞動大阪聯合會大會之件

要旨(一)全勞大會ハ昨年大會ニ比シテ元氣ナシ

□然シナガラ、社會主義社會實現ニ對スル運動方針ハ固ク、本大會ニ於テモ「資本家地主ノ爲ノ戰爭反對、日ソ不侵略條約締結促進ニ關スル件」ノ議案ヲ上程セリ、怖ラク全國大會ニモ提案スベシ

○社大黨轉換期政策ニ對シテハ一般大衆ノ反對相當強ク譲リ居レリ

四聯合會幹部ニ對スル反幹部派ノ存在ト活動ヲ一部ニ於テトナヘ居ルモ大會ノ表面上ノ空氣ニ關スル限りニ於テハ全然ナシ。金屬大會ニ於ケル鐵心ノ態度モ本大會ニ於テハ、全ク解消サレ居レリ。全勞統一會議ノ勢力ハ現在少クトモ團體的勢力ナシ。

四聯合會ハ山口、鈴木、井上ノ三者ニヨリテ統率サルルコト依

然變化ナシ。

○日時 昭和八年八月十三日午前十時半

○場所 大阪市港區九條公園内九條會館

○議場ニハ「インフレ闘争ヲ擴大セヨ」

「反動ヲアツシヨ的國民運動ヲ粉碎シロ」

「賃銀値上、時間ヲ短縮シロ」

「失業者ニ仕事ヲクレ、食ヲタレ」

「一週四十時間制ヲ獲得シロ」

「資本家地主ノタメノ戰爭絕對反對」

「組織ヲ守レ、組合員ヲ殖ヤセ」

「全勞大阪聯合會擴大強化万才」

ノスローガンガ懸垂サレテ居ル。傍聴者約五十名

司會者 井上 道二

○井上、先ツ開會ノ挨拶ヲ述ベル